

子どもの未来創造応援特別委員会 会議録

開催年月日	令和2年2月10日（第5回）					
開催の場所	湖西市役所 委員会室					
開閉会時刻 並びに宣告	開 会	午前10時29分	委員長	二橋 益良		
	閉 会	午前11時29分	委員長	二橋 益良		
出席並びに 欠席議員 出席 9名 欠席 0名 〔凡例〕 ○は出席を示す ▲は欠席を示す ●は公務欠席を示す	氏名	出欠	氏名	出欠	氏名	出欠
	加藤 治司	○	荻野 利明	○		
	滝本 幸夫	○	馬場 衛	○		
	高柳 達弥	○	二橋 益良	○		
	佐原 佳美	○				
	吉田 建二	○				
	竹内 祐子	○				
説明のため 出席した者の 職・氏名						
職務のため 出席した者の 職・氏名	次 長	村越 正代	書 記	山田 知世		
会議に付した事件	別紙のとおり					
会議の経過	別紙のとおり					

子どもの未来創造応援特別委員会 会議録

令和2年2月10日（月）

湖西市役所 委員会室

湖西市議会

〔午前10時29分 開会〕

○佐原副委員長 では、本日は御多忙のところ御参集いただきまして、ありがとうございます。

それでは委員長、委員会の開会をお願いいたします。

○二橋委員長 ただいまから第5回子どもの未来創造応援特別委員会を開会させていただきます。これからの進捗につきましては、着座させていただきます、お願いをさせていただきますと思います。

議事に入ります前に、先ほどお話ししたとおり、しっかりとマイクのスイッチを入れて発言をお願いしたいと思います。

それでは、順番にちょっと、簡単にまとめたもので結構でございますので、前回の藤枝市の視察の感想を取りまとめて発言をしていただければと思います。順番に行きます。まず初めに、佐原副委員長。

○佐原副委員長 この子ども発達支援センター設置を、藤枝型発達支援システム構築のための行動計画の最初に実現するものとして、行動計画の1番に挙げて、この行動計画が発行された翌月には、年度の当初には稼働しているというところで、藤枝市の本気度がわかりました。そして、所長が挨拶の中で繰り返し述べられていたのが、保護者の支援に力を入れてきた。保護者のニーズに応じて、サポーター養成講座をやってきた。保護者の声を聞いて事業化してきたという、当事者の声を第一の姿勢がうれしかったです。

そしてまた、所長を初め最初のスタッフ3人が、公認心理師の資格を取って、専門性を自身のスキルとしてつけて、このシステムをつなぐ中心の立場として働いて、中心メンバーとして活動してこられたということと、それから子供さん一人一人のオーダーメイドの支援を深めていきたいという、健全な子供も発達障害のある子供も、一人一人なんだという着眼点で仕事をされているということ。このシステムはすばらしいと感激いたしました。以上です。

○二橋委員長 ありがとうございます。

では、順番に行きます。荻野委員。

○荻野委員 では、まず藤枝市、この発達支援システム、佐原委員も言いましたけども、基本理念と基本目標として、気づく・知る・支える・つなげると、こういう形になっていて、常に相談することができるようになってるのがすばらしいというふうに思いました。

それともう一つは、地域における発達障害への理解・啓発を進めるということで、地域の皆さんもこの発達障害について理解を求める。そのことが障害を持った子供や親にも、親の安心につなげることができているということだと思います。

それと最後のところで、やはり湖西市においてはとてもできないと思う。こう言ったのは、やはり湖西市の福祉部門というのは、県から言われたことはやるんですね、それなりに。しかし、そこから一歩、二歩、三歩と、出た部分というのは全くやってないと。そういう感じがするんですね。だから、市長の決断なり、そういったものがないと、湖西市では絶対に無理だというふうに思いました。以上です。

○二橋委員長 ありがとうございます。

次に、吉田委員。

○吉田委員 私は、視察をして非常に感じた点、2点ございます。

まず一点は、発達支援をしていこうという市の姿勢が、子ども発達支援センターという組織をそこに設置をして、そこを中心に行っているということです。いわゆる発達支援センターを設置するんだよ、そして発達支援を進めるんだよという、市の姿勢を前面に打ち出している。これが非常に印象が残っております。

もう一つは、切れ目のない支援ということで、0歳児から18歳までを順々にぐあいよく支援をしていこうという、支援組織を打ち出している。さらにそれを、支援組織を打ち出しているフォローシートを、お互いの組織がどういうぐあいに連携してやっていくかということを確認している。これが非常にわかりやすく、そのことが

事業の成果に結びついていく非常に大きなポイントではないかなと、こんな点を感じました。以上、2点を感じたということでございます。以上です。

○二橋委員長 ありがとうございます。

次に、滝本委員。

○滝本委員 私のほうで感じたことといたしますと、やはり基本理念と基本目標に向けて役割分担とスタッフの充実を図っているということなんですから、この中で現場を非常に大事にしているということと、体験型の現場構成になっているということと、やはり先生たちへのサポート、支援者のスキル向上のための研修、それから子育てのための親の勉強会といったことを、当たり前のようにやっていけるような形ができているというのが非常にやはり印象に残っております。

それと教育と福祉の連携ができているということで、地域としてのサポートをする形で、どの機関も情報を入れられるという、つまり縦割りでなくて、横にもつながれるという、のり代がある状態をつくっているということです。このことについては湖西市の行政のほうでもやっていただきたいと思ってることだということです。やはりつながりがあって、一つのことを言えばどこにでも通じていくという形をとらないと、なかなかスムーズに、支援したくても応援していくのがどこの課なのかとか、そんなこと言っていて、またそっち行って同じこと言ってるのでは話にならないものですから、そういったつながりがしっかり持つ形をつくっていけば、湖西市にも導入できるのかなというふうに思います。以上です。

○二橋委員長 馬場委員。

○馬場委員 今回の視察研修をする前に、発達障害についてという勉強会、研修会をやった。その成果が出てるんじゃないかなというふうに感じました。というのは、発達障害そのもの自体を、私たちがなかなかしっかりと理解していなかった。その研修の中で、ある程度理解した中で今回視察研修をさせていただいて、この藤枝市の取り組みというか、子ども発達支援センターで行われていることが、しっかりとした専門家を配置する。それと横の連携、つながりという意味の中で、しっかりとした組織が構築されているというか、これについてはなかなかこれから湖西市が進めていく中で、大いに参考になるというふうな感じでした。一番大きく感じたのはその2点かなというところで、我々もこの研修の成果を行政のほうにも少しでも提言できればというふうに考えております。簡単ですけど、以上です。

○二橋委員長 竹内委員。

○竹内委員 藤枝市の発達支援体制については、藤枝市長の、全ての子供たちが健やかに成長することを願うということが具現化されているものだと思います。湖西市でも、藤枝市と同じように、各課では子供たちのことについてはやっているんですね。藤枝市の発達支援については保健センターと発達支援センターの連携で行われていて、ライフステージごとに関係機関が個別にかかわっています。それはどの市町でもやっていることなんですから、藤枝市はそのところに発達支援センターという一つのポジションを置いて、そのところでそれぞれの横のつながりをつけるようにしていっているところがすばらしいなと思います。

湖西市においても、藤枝市のように専門的なそういうポジションを置けば、迷子になることもなく、それから親が悩むこともなく、安心して湖西市で子育てができるようになっていくのかなというふう感じたところがあります。やはり市民の皆さんを安心させるためには、専門職の配置が必要だと思いますので、湖西市にも専門職の心理判定員とかそういうような専門職員の配置を要望していきたいと思われました。以上です。

○二橋委員長 高柳委員。

○高柳委員 私は藤枝市の視察を受けまして、湖西市としてどのようにやっていったらいいかというようなことで考えてみたことの報告をさせていただきたいと思っております。

湖西市の中の発達障害の方の支援を必要としている児童の状況ですね、そういうものがはっきり把握されてい

ないのではないかと。またそういう障害に対して、市民の方々もこういう状況を理解したり、そういう状況を把握しているかどうかということを感じました。

それから2つ目には、市としても何らかのそういう形で発達支援の方向を示しておりますが、それでいろいろ実施してきたのですが、その現状とか課題、取り組み状況、成果などの状況が、しっかりされているかどうか、また、そういうことを皆さんに理解されてるような活動をしているかどうかというのが2つ目でございます。

3つ目には、発達支援のシステムの構築ということですが、また、例えば藤枝市の場合の発達支援センターでございますが、そういうものをするにしても、やはり人的な資源の状況ということで、湖西市も保育士とかそれぞれ専門職がありますが、この発達障害に対する理解というか、こういうことで進めていきたいというような、そういうようなことの必要性を感じて、いろいろ勉強したり、そういう人材育成がまず必要で、そうでないとそういうような器をつくってもこういう実際の専門職の方がそういう意識をして取り組まないと進んでいかないのではないかなとそんなふうを感じました。以上です。

○二橋委員長 ありがとうございます。

最後になりますが、加藤委員。

○加藤委員 藤枝型の発達支援の一番いいところは、フロー図、体系的にまとめられていて、その中心に支援センターがあるということだと思います。それによって、保護者、子供は小さいときは自分では行けないですから、保護者が困ってるときに、どういふところに行けばよくなるかという、相談できるかというのが、見える形にしてあるというのがすばらしいと思います。

それによって子供さんが、グレーゾーンにいる子供が早目に支援を受ければ、健常者のほうに行く確率も高いもんですから、そういうのが一番必要ではないかなと。湖西市も個々にはあるんですけども、やはりそれを体系的にまとめる核が欲しいなと思いました。以上です。

○二橋委員長 ありがとうございます。

では最後になりますが、私のほうから。

いずれにいたしましても、私どもの特別委員会では、特にこの発達障害についてというテーマで今回視察をさせていただいたものですから、この藤枝型の発達支援システム、これは非常に我々にとっても研究材料かなということで、そこには子ども発達支援センターというものが置かれていたと。各部署では、行政ではどうしても縦割りというか、自分の範疇しかなか対応ができないという中で、やはり重要なのは、子ども支援センターが全てそれを統括してると。連携がとれて、しっかりとつなげていくような体制をとってると。そこには心理判定員や専門相談員等々、専門知識を得た人たちが控え、そしてなおかつ、今度保護者のほうにもファイル、そらいろファイルを保管していただいて、個々に記録をつけていくというような、結果を残すような、そうしたシステムを構築してるということでございます。

私どもの湖西市においても、ぜひ途切れのない発達支援を目指さなければならない観点から、こうしたシステムを導入しながら、特に子ども発達支援センターは重要な場所でないかなと思いますので、これからこの当特別委員会においても提言していきたいと、そんなふうに思っております。以上です。

○二橋委員長 一応、皆さん方から御意見いただいたものですから、特に何か感じたことございましたら補足で、あるいは新たなことでも結構でございますので、御意見を拝聴したいと思います。

大体皆さん方から御意見いただいたものですから、そんな中で、もしよろしければ、正副委員長で取りまとめて、また皆さん方に提示して、了解を得た中で、来月あたりの議員全員協議会で視察報告をしていきたいとそんなふうに思いますけれども、よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○二橋委員長 それではそんなような方向で進めたいと思います。

一応視察の件につきましては、よろしいですかね。

それとあと、今後についてでございますが、いずれにせよ、やはり2年間弱という期間の中で、提言まで結びつけるかどうかわかりませんが、一応報告していかなければならないものですから、少なくとも来年度の中盤から、まとめにかからなければいけないものですから、あとまだ少し懸念が残るのは、交通安全とか等と、まだ実態調査をしてないところがございます。各部署というか、学校とか自治会とかそういうところにまで波及していくものですから、なかなか取りまとめが難しかったんですけども、ここら辺のフォローをどんなふうにしていこうかなと思いますけど、もし皆さん方から御意見ございましたらお願いしたいと思いますけど、その前に、ちょっと事務局のほうからちょっと報告していただいて、もう少し掘り下げて、ここら辺をどうするかということ。休憩をとります。

午前10時47分 休憩

午前11時20分 再開

○二橋委員長 それでは休憩を解きまして、再度ちょっと確認をさせていただきます。

まず、一応健全育成に関しては、一応型どおり網羅したつもりではございますが、あと交通安全、それから食の安全ということで、ここら辺の今後の作業をぜひ進めていきたいと思えます。

まず、交通安全に関しましては、前回、各校区を3分割いたしまして、それによって各学校、それから見守り隊とか、あるいは地域のそうした関係のこの現状調査をぜひお願いしたいということで、まず新居と鷺津に関しましては、馬場委員、それから荻野委員、加藤委員、そして吉田委員という4人で担当をお願いしたいと思います。東小学校あるいは知波田小学校の湖西中学校区、これに関しましては佐原委員と竹内委員、そして高柳委員、並びに白須賀と岡崎小学校、中学校単位、これは私と滝本委員でお願いをさせていただきたいと思えますので、よろしく願いいたします。

期日にいたしましては、5月末ぐらいをめどに、新年度になりますと交代の時期でございますので、余り早々にやっても、あるいは卒業式、入学式がございますので、そうした意味でも調査の期間を一応5月末としたいと思えますけど、どうですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○二橋委員長 よろしいですか。お願いをさせていただきたいと思えます。

それに関しましては、ちょっと事務局通じて、フォーマットを用意させていただき、それに記入していただくような形をとりたいと思えます。

何かここら辺で御質問ございましたらお願いします。よろしいですか。

それでは次の食の安全についての課題の収集でございますが、この食の安全につきましては、いろんな部署にも関係するかもわかりませんので、とりあえず今、新年度予算で給食センターの事業計画が出てくると思えます。そこら辺を踏まえていくと、今現状調査しても、それは実際、特別な問題があれば対処しなければいけないんですけども、現行の改善をするためにはやはり結論としては給食センターということになりますので、給食センターを早期に実現していただくということに、当委員会でもそちらの方向を向いていくんじゃないかなと思えますけども、これにつきましてどうですか。よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○二橋委員長 そんな形で、来年度の予算を見ながら、特に行政側の説明も多分必要だと思えますので、そこら辺も踏まえて進みたいと思えます。

ほかにはどうですかね。はい、どうぞ。

○馬場委員 先ほどの交通安全の関係で、ここで新学期始まると、新入学児童の関係で、安全な登校。なのでそ

の辺をうまく焦点を合わせれば、いろいろな課題が出てくるのではないかなと思いますので、ちょっと参考までに。

○二橋委員長 多分学校側あるいは見守り隊についても、そうした新1年生の児童の指導に十分配慮するような形で行動をとるということではないかなと思いますので、そこら辺を含めて調査がちょっと掘り深くできそうだなとは思いますが。そこら辺も踏まえてお願いしたいと思います。

ほかにはどうですか。よろしいですか。

それではそんなぐあいに進んで、あと一応来年度の中盤ぐらいからまとめに入りたいと思いますので、そのつもりで予定をひとつ検討していただければと思います。一応最終報告は、この令和2年度の2月ごろを一応予定して。これ報告は全協でやるんだっけ。

○事務局 最終的には議員全員協議会でもそうですけど、議場で。

○二橋委員長 いつも議場でやってたっけ。

○事務局 はい。

○二橋委員長 では、3月定例会に間に合うように2月ごろまでにまとめたいと思います。

何か特別、御意見ございますか。

なければ、あとその他で、何か皆さん方から御提言ございましたら。

どうですか。いいですか。

それでは事務局のほうから何か。いいですか。

あと、これは、添付してある前回の、藤枝市の行政視察の収支報告書。一応参考に見ておいていただければと思います。

それでは、これで一応閉会とさせていただきます。

(「次回」と呼ぶ者あり)

○二橋委員長 あ、次回か。ごめんごめん。次回どうしますか。今言う報告書、視察報告のまとめをした時点で。あとこれずっとあれだな、本会議になっちゃうね。議員全員協議会の日程わからんね、まだ。

○事務局 まだわかりません。

○二橋委員長 どっちみち一番最終が3月23日だね。

○事務局 そうです。

○二橋委員長 それ以降になる。済みません、ちょっとうっかりしてました。3月11日の午後1時半から、ちょっと予定を組みたいと思いますけど、よろしいですか。

○加藤委員 予算特別委員会の3日目ですかね。

○二橋委員長 そうです。多分、これ予算特別委員会、多分この日あるかどうかというようなことだと思いますけども、一応午後から、1時半からです。よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○二橋委員長 それでは閉会といたします。以上で、子どもの未来創造応援特別委員会を閉会します。

[午前11時29分 閉会]

湖西市議会委員会条例第28条第1項の規定により署名する。

委員長 二橋 益 良